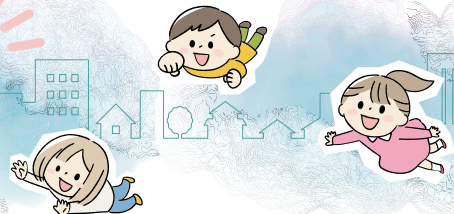




まちの話題



1月8日[Thu]

第34回全国小学生バドミントン選手権大会で長浜・前山組が3位入賞



▲賞状を手にする前山剛輝選手（左）と長浜旭大選手（右）

広島グリーンアリーナで開催された第34回全国小学生バドミントン選手権大会（男子4年生以下ダブルス）で見事3位入賞を果たしたダブルスペアの長浜旭大選手、前山剛輝選手（共に多久スポーツピア所属）が市長を表敬訪問されました。

長浜選手は「今回負けた悔しさを糧にして、次の大会に向けて頑張りたいと思います」、前山選手は「1位を狙っていましたがその前に敗れてしまったので、その悔しさを忘れずに次の大会ではやりきります」と話をされ、二人とも今後の大会に向けての意気込みを力強く話されました。



1月12日[Mon]

七草粥・女山大根を味わう会



▲伝統野菜を大勢でおいしく味わいました

今年も「七草粥・女山大根を味わう会」が西多久公民館で開かれ、市内外から訪れた約100人が、七草粥と女山大根を使った牛すじ大根、大根なます、幡船汁などに舌鼓を打ちました。味わう会に先立ち、宝満山公園南側では「鬼火焚き」も実施。正月飾りを火で焼き上げ、無病息災などを願いました。

味わう会は、住民有志でつくる「西多久町を考える会」が女山大根をPRするために毎年開催。会員の諸江啓二さんは「女山大根はポリフェノールが多く、高い栄養価で近年注目されています。女山大根を広めていくとともに伝統行事を大切に守り、地域の自信につなげていきたいです」と話されました。

1月12日[Mon]

第61回 多久市成人祝賀ロードレース大会



▲小学生・中高生・一般の選手たちが健脚を競いました

冬空の下で「第61回多久市成人祝賀ロードレース大会」（主催：多久市・多久市教育委員会、一般財団法人多久市スポーツ協会）が、今年も開催されました。今大会は市内外から200人以上のエントリーがあり、選手のみなさんは、白い息を吐きながら駆け抜けました。

中学生女子の部（3km）で優勝した岸川わこさん（多久RC）は「上り下りの差が激しくてきつかったけれど、うまくレースをまとめることができました」と笑顔。県外からの参加者は「年の初めにふさわしい、良い大会だと思います」と話されました。

ふるまいブースでは豚汁やおにぎりが提供され、選手たちはレース外でも楽しい時間を過ごしました。

